



獅子づくりの技と想い。  
沖縄の人々の獅子への想い。

獅子と織りなす  
うむいの物語。

ドキュメンタリー映画

# うむい獅子

— 仲宗根正廣の獅子づくり —

出演：仲宗根正廣

諸見由則 神谷武史 神谷明和 神谷清俊 神谷明德 神谷明信 神谷清吉 神谷政光 神谷弘 神谷良明  
知念誠一 神谷尚希 神谷祐貴 松永典子 伊波妃菜 神谷武之心 神谷カミン 神谷登夢

監督：城間あさみ

脚本：城間あさみ 撮影：城間克彦 比嘉毅 城間あさみ 音声：澤岨健 編集：城間克彦 製作進行：澤岨健  
制作アドバイザー：平良浩樹 ナレーター：米須五十六

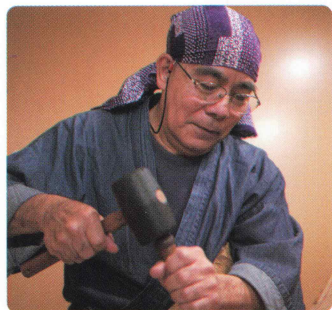
2022年/日本/58分

製作・配給：海燕社

シー シ ガ ナ シ チネー ザケー ムラ ザケー クニ ザケー  
 獅子加那志、家庭栄、村栄、国栄 ユタサルグトゥ ウニゲーサビラ  
 シマンチュ  
 ～神獅子さま、この島を、島人をお守り下さい。～

300年ともそれ以上とも言われる沖縄県の獅子舞の伝統は、年中行事を通し、先祖代々、地域ごとに受け継がれてきた。300年前の祖先が、子孫の幸せと繁栄を願って舞い、我々は今ここにいる。次は、我々が300年後の子孫の繁栄を願い、舞い踊る時だ。獅子舞を未来へつなぐため、必要不可欠な新しい獅子頭。獅子工・仲宗根正廣の手に託されたのは、300年にわたる「うむい」を、未来へつなぐ、貴重な獅子頭の制作。ゼロから、地道に、丁寧に、コツコツと。仲宗根正廣が手掛けた獅子頭の数61頭(神獅子製作14頭、神獅子修理11頭、交流獅子製作20頭、子供獅子製作1頭、大人ファイバー獅子1頭、子供ファイバー獅子14頭 2021年12月時点)に及ぶ。本作は、世代交代の時期を迎えつつある八重瀬町志多伯の獅子頭を、仲宗根が新たに作り上げる工程と人々の獅子への想いを綴ったドキュメンタリー。

◎ 仲宗根さんの志多伯の獅子頭づくりの工程(神獅子の模作) ◎



なかそね まさひろ  
 【仲宗根 正廣さん】

1953年2月生まれ。うるま市出身。仏像彫刻師で獅子工。1980年彫刻修行のため大阪へ。鎌倉時代の大師運慶の流れをくむ仏像彫刻師水戸岡伯翠氏に師事、約9年間外弟子として仏像彫刻を学び、1989年師の内弟子となり厳しい修行の道を歩む。1992年独立のため帰沖、工房設立。2001年首里城正殿2つの扁額文字彫刻を制作。2007年沖縄県工芸士認定。2021年までに61頭の獅子頭を制作・修理。

- 神獅子の獅子頭を採寸。
- 粘土で実寸の獅子頭の模型を制作。
- 粘土模型を元に志多伯のみなさんの意見を聞く。
- デイゴの木を彫る。
- 漆芸家(諸見由則さん)に漆塗りを託す。
- 馬の毛をつける。
- 完成。

◎ 映画に協力出演してくださった獅子のみなさん ◎



八重瀬町志多伯の神獅子 那覇市首里末吉町の神獅子 八重瀬町友寄の神獅子 八重瀬町破名城の神獅子 南城市玉城の神獅子 沖縄市古謝の神獅子 本部町瀬底の神獅子

◎ 沖縄の獅子舞 ◎

沖縄の伝統芸能である獅子舞は、悪霊を祓い、五穀豊穰・子孫繁栄や村の繁栄をもたらすと言われ、沖縄各地で受け継がれている。主に旧暦7月と8月、盆の送りや八月十五夜に、地謡の三線やドラ、太鼓の演奏に合わせて村内を練り歩き、あるいは舞台上で舞い踊る。獅子は村の守り神である。その昔、首里王府から御拝領として獅子頭を授けられた村もある。沖縄県内には180ほどの獅子があるといわれているが、その型と獅子の特徴などは各村によって異なる。沖縄の獅子舞は、二人一組で演舞する。獅子舞胴衣は、芭蕉の繊維等で作られている。獅子頭はデイゴの木で作られているものが多い。獅子頭の多くは、沖縄戦で焼失、または消失した。村の復興を願って、有志が獅子頭を作ったのが戦後の獅子舞の始まりだ。そして戦後77年が経ち、獅子は世代交代の時期を迎えている。

協力：八重瀬町志多伯獅子舞保存会、那覇市首里末吉町獅子舞保存会、八重瀬町友寄獅子舞保存会、八重瀬町破名城獅子舞保存会、南城市玉城獅子舞保存会、沖縄市古謝獅子舞保存会、八重瀬町富盛自治会、本部町瀬底区自治会、八重瀬町、八重瀬町教育委員会、南城市教育委員会、浦添市美術館、国立劇場おきなわ、国営沖縄記念公園(首里城公園)、沖縄県公文書館、公益財団法人沖縄協会、沖縄県工芸振興センター、沖縄タイムス社、山田多津子、瀬底正樹 他

製作・配給：海燕社 〒901-0235 沖縄県豊見城市字名嘉地60番地B-1 TEL:098-850-8485 FAX:098-851-3553 <http://www.kaiensha.jp> @umui\_jishi

2022年

9/16(金) ~ 9/22(木)

UPLINK 吉祥寺  
 吉祥寺パルコ地下2階 tel. 0422-66-5042



9/16(金) 上映後 クロストーク：城間あさみ(本作監督/海燕社代表) × 今井友樹(映画監督/工房ギャレット代表)